



2016-17 年度テーマ

人類に
奉仕する
ロータリー

■会長	竹葉 良仁	■職業奉仕委員長	茂呂 博光
■幹事	竹田 米廣	■社会奉仕委員長	高瀬 一也
■S A A	有田 裕彦	■国際奉仕委員長	保田 孝司
■クラブ奉仕委員長	田淵 満博	■青少年奉仕委員長	吉田 侑希

■例会日：毎週木曜日	12:30~13:30	■事務所	〒788-0003
■例会場：宿毛市幸町	秋沢ホテル		高知県宿毛市幸町 6-43
URL	http://www.gallery.ne.jp/~sukumorc/		TEL 0880-63-3416
E-Mail	sukumorc@mb.gallery.ne.jp		FAX 0880-63-3417

例会報告 第2564回 平成29年6月1日(木曜日) 天気：晴れ

- 例会司会：有田 S A A
- 開会点鐘：竹葉会長
- Rソング：国歌・四つのテスト
- お客様：宿毛市長 中平富宏様

四つのテスト 言行はこれらに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

■会長報告 竹葉会長

私の会長任期も1ヶ月となりました。
先週は3クラブソフトボール大会16名参加していただきました。四万十RC、中村RCも沢山参加していただきました。大変良い試合でした。勝つつもりでしたが残念ながら負けました。
夜の懇親会では続けて開催してはなっています。
27日には香長RC40周年記念例会に竹田幹事、西田会員3名で出席しました。
香長RCは10名の会員ですが県内から120名程の参加がありました。講師には霊場3番札所竹林寺の住職でした。

■幹事報告 竹田幹事

- ガバナー事務所より：
松山西RC例会場変更について
- ガバナーエレクト事務所より：
ガバナー月信発行についてのご案内
米山学友ホームカミング制度のご案内
- 宿毛地区地域安全協議会より：
役員会・総会の資料

例会終了後理事会を開催します。

欠席届 13名

■6誕生日・結婚記念日

誕生日 松村会員(欠席)
結婚記念日 大井田会員(欠席)

■委員長報告

田淵副会長

3クラブソフトボール大会の結果報告
四万十RC-中村RC 17-1
宿毛RC-中村RC 7-10
参加ありがとうございました。
大変良い試合でした。次回も宜しくお願いします。

6月9日クラブ協議会を開催します。
計画書の提出をお願いします。

■プログラム

宿毛市長 中平富宏様



皆様こんにちは。宿毛ロータリークラブの皆様には宿毛市民の為に色々な所で色々な活動をして頂き大変感謝をしています。今回は演題を作っていません。今回は何でも構わないという事なので先だって私が市議員時代の友人が

全国から数名宿毛市に来てくれました。
その時東京から時間的距離が最も遠い宿毛市の市長の考え思いを少しお話をしましたのでその辺をお話したいと思います。
YouTubeに東京駅から全国各地への所要時間を可視化した映像が載っていますので皆さん是非見て下さい。
東京駅からスタートして公共交通を利用して何時間でその場所に着けるかという映像で時間を追って明かりが点いて行きます。当然飛行機新幹線も使います。最も早く着ける手段を選択していますが最後まで明かりが点かなかったエリアが全国で何カ所かありますがその一カ所が宿毛市の隣の愛南町あたりです。

以前市長選に臨むにあたりお話をしました日本創生会議の資料を使用しました。
2010-2040年まで出産適齢期が50%以下になる自治体が示されています。
宿毛市は69.1%の減少となっています。
私が生まれた1968年から2000年までの人口推移をみますと人口減少がほとんどありません。一時期は人口が増えています。しかしながら近年15年を見ると非常に速いスピードで人口減少が進んでいます。
一番留意しなければいけないのは1968年は4.5人が60歳以上の方1名を支えていました。現在では2040年には1人が1人を支えなければならないとされています。
逆三角形の若者が少なく高齢者が多い宿毛市となっています。
宿毛市としてこういった施策をとらなければいけないのか。
出ていく方々よりも入ってくる方々を増やさなければ

いけません。
生まれる子どもを増やさなければなりません。
出生率は近年上昇傾向ですが子ども達の数は増えていません。これは20-39歳の女性が減少しています。
現在取り組みをしていることは、若い女性の方々。
特に共稼ぎの夫婦にしっかりと子育てが出来る環境を創っています。
財政的にも負担にならない様にしています。
保育園では第2子同時入所者無料の制度を創りました。
手続きの一本化として子育て支援窓口を設置。
土曜日に子どもを預けられる地域創りもしていきたいと考えています。

宿毛市では150人程転出が多くなっています。
移住者の数は約2倍増えています。
支援対策として空家の提供をしています。
ハードルは高いですが「土地も家も農地も山林も漁船を貸せるそんな宿毛市役所になれ」と言っています。
移住フェア等にも参加し情報を収集しています。
人口減少、移住がなぜ宿毛市として課題で大切なのかは、地方交付税に関わってきます。
宿毛市の地方交付税は35%。自主財源は30%となっています。地方交付税のカウントは人口に左右されます。
宿毛市から転出している所は高知市、四万十市となっています。分析すると学生が多く占めています。
地方創生を考えるにあたり地方創生は地方を助ける施策ではありません。
地方が消滅したらどこが困るか。困るのは東京だと思えます。地方が頑張れば活性化すれば東京の為にもなると思えます。

森林環境税の施策も進められています。
こちらも交付税となります。宿毛市も84%が森林となっていますので活用していきたいと思えます。
地方創生の施策は独自性をもって行うことですが全国同じ事を行っています。
この地域でなければ出来ない事に目を向けて行わなければいけないと思っています。
小さな自治体で行う観光産業は自分の街だけでは出来ないと思っています。
現在6市町村で幡多広域観光協議会、観光協会で国内、海外からの観光客の誘致に努めています。

宿毛市として取り組んでいる事は食です。
宿毛市の食を売り出しています。

宿毛創生で日本を創生して行きたいと思っています。
宿毛市を元気にして日本を元気に行きたいと思っていますので今後もご支援を受けながら進めていきたいと思えますので宜しくお願いします。



■ ニコニコ

竹葉会長 3クラブのソフト大会お疲れ様でした
2,000円

■ 出席報告

70.37%